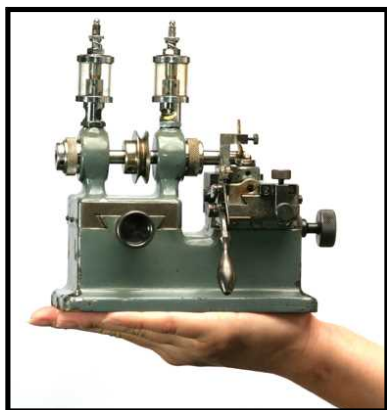


平成17年度 第15回 特別展 時計用小型工作機械の歴史

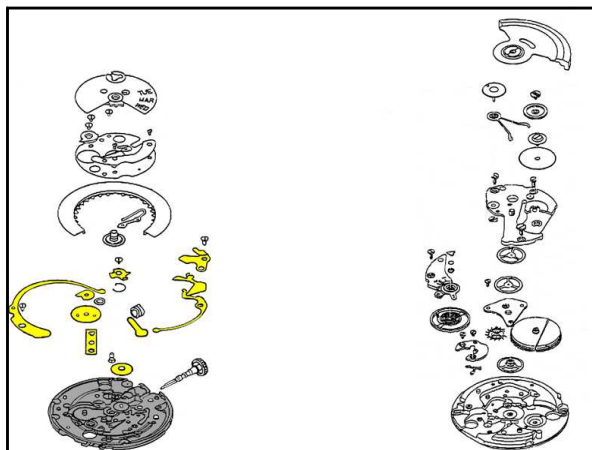
1. 展示内容

機械式時計を構成する機械部品を、加工方法を基に「歯車・ピニオン」、「軸・軸受(ルビ-)
ー)・ねじ」、「地板・受」、「バネ」、「ケース」の5種類に分類して、それぞれを製造する
道具・工作機械の変遷を紹介する。

特に、昭和20年頃の機械式腕時計を製作した小型で緻密な工作機械を中心に展示を実施し、
可能な工作機械は動態展示とした。



掌にも乗せられるような
小型の工作機械



機械式腕時計の構造

2. 主 催 日本工業大学工業技術博物館
3. 協 賛 日本工業大学工業技術博物館後援会
4. 後 援
5. 開催期間 平成17年11月4日(金) ~ 11月19日(土)
6. 場 所 日本工業大学工業技術博物館 2階展示場
7. 入 場 料 無料

8. 展示内容

- (1) 機械式時計の構造を解説する大型模型
- (2) 昭和以前の時計製作道具
- (3) 昭和20年頃の時計用小型工作機械とその動態展示
- (4) 切削加工から塑性加工(プレス加工)への変遷を展示
- (5) 最近の腕時計技術の展示
- (6) 体験コーナー



機械式時計の構造を解説する大型模型
(高さ1200mm 付属工高にて製作)

- 9. 講演会** 日時 / 11月16日(水) 午後1時20分より3時まで
場所 / 日本工業大学 学友会館 ホール
演題 / 時計工業における技術開発の歴史
講師 / セイコー時計資料館 名誉館長 久保田 浩司 氏

- 10. 広報活動** テレビ・新聞・雑誌社に対するパブリシティ活動を行うほか専門誌に対する広告掲載を行いません。
また、ポスター・パンフレットを作成し、関係各所に配布いたします。